

山越

リサイクル糸の新ブランド

「ボトリウム」使い協業

仮燃り加工系製造の山越(石川県かほく市)は、独自の開発に力を入れる。新商品として、リサイクルポリエステル仮燃り糸「リオペット」、ストレッチ系「モドリッチ」を開発した。

トムラ・ジャパン(東京都中央区)の高純度ペレット「ボトリウム」を使う。ボトリウムは日本全国に設置した回収ボックスに持ち込まれたペレットを原料とし、環境負荷の低い工程でペレットにする。

地域や設置場所は特定でき、トレーサビリティを確保する。14、15日に福井市で開催される「北陸ヤーンフェア2023」でリオペットを紹介し、年内に本格展開を始める予定。

ストレッチ系ではPB T/PEETの「モドリッチ」を開発した。柔軟なストレッチ性やソフトな風合いなどが特徴。ストレッチでの要望が多様化する中、モドリッチを加えて対応の幅を広げる。

足元の稼働は堅調で、利益は苦戦しながらも設備はフル稼働が続いている。車輦用途の回復に加え、独自開発系の拡大も寄与している。海外の協業先で作る商品が円安で採算が厳しくなる中、今後は独自系の輸出にも力を入れていく。

「浮柄色」で制作したふすまに、リサイクル糸を使用した。リサイクル糸は、環境負荷の低い工程でペレットにする。

同展は2年に1回開催してきたが、新型コロナウィルス禍もあり、今回が4年ぶりの開催。目先ではなく、将来を見据えて、今やるべきことを形にした(中島俊広常務)という。

来場は事前予約制だが、スタートした9月18日からの1カ月で27社192人が来場した。最終的には80社以上、400〜500人の来場者となる見通しという。

自動車内装材関係やインテリア関係が中心ながら、その他産業資材関係や同業他社なども来場している。中島常務は「今回は並利から壁をなくした。同業他社も含めてさまざまな企業に見てもらい、情報交換を行いながら共同開発などにも結び付けていきたい。今の時代はさまざまなつながりも持つべき。そのきっかけにしたい」と話す。

材料部材の開発・成形に特化した世界最大級のプレス設備も保有する。三菱ケミカルグループは、CPC社の設計力、成形技術、開発力、提案力、欧米自動車メーカーとの商流ネットワークを活用することでシートモールド(CFISM)や圧縮成形プリプレグ(PCM)をはじめとする炭素繊維複合材料の自動車部材への採用を加速する。

両社のパートナーシップは、バイオベースやリサイクル炭素繊維の中間材料開発など、将来に向けて持続可能なソリューションを提供するためのさらなる協働を予定している。三菱ケミカルグループは「今回の全株式取得は、炭素繊維市場に完全なソリューションを提供する重要な契機」とコメントした。

RS認証を取得しており、リサイクルポリエステル糸「リペット」を展開している。リペットは海外原料を使うが、日本国内の専用工場で行う。洗浄は化学薬品を使用せず、オゾン水とナノバブルで洗浄効果を高めた水を使い、「オーガニックペレット」として訴求する。PETボトルを回収した工が主力の尾張整染(愛知一宮市)は今年末まで、新開発の加工技術を紹介します。「第7回加工技術プレゼンテーション」を開催している。

尾張整染 バックキ剤に工夫も 4年ぶりの技術展開催中

「浮柄色」で制作したふすまに、リサイクル糸を使用した。リサイクル糸は、環境負荷の低い工程でペレットにする。

三菱ケミカルグループは、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製自動車部材を製造販売する伊CPC社の全株式取得を決定した。2017年に同社株式の44%を取得しており、今回の全株式取得で炭素繊維事業の長期的な成長を加速する。

伊CPC社は、部材の設計・シミュレーションに加え、炭素繊維複合材料の成形、金型の設計・製造、複合材料の塗装、部品組み立てなど、自動車部材分野におけるさまざまな技術的専門知識とノウハウを持つ。大型複合

の成形、金型の設計・製造、複合材料の塗装、部品組み立てなど、自動車部材分野におけるさまざまな技術的専門知識とノウハウを持つ。大型複合

CPC社は技術的専門知識を持つ。両社のパートナーシップは、バイオベースやリサイクル炭素繊維の中間材料開発など、将来に向けて持続可能なソリューションを提供するためのさらなる協働を予定している。

「ひつじサミット尾州」染色体験など産地身近に 若手人材確保へつなぐ

尾州産地一帯で10月28、29日に産業観光イベント「ひつじサミット尾州」が開かれた。工場の一般開放やモノ作りのワークショップなどを通じて、尾州の魅力や産地企業の仕事を発信。若手の人材確保につなげようとする動きが進んでいる。

地域の設置場所は特定でき、トレーサビリティを確保する。14、15日に福井市で開催される「北陸ヤーンフェア2023」でリオペットを紹介し、年内に本格展開を始める予定。

ストレッチ系ではPB T/PEETの「モドリッチ」を開発した。柔軟なストレッチ性やソフトな風合いなどが特徴。ストレッチでの要望が多様化する中、モドリッチを加えて対応の幅を広げる。

足元の稼働は堅調で、利益は苦戦しながらも設備はフル稼働が続いている。車輦用途の回復に加え、独自開発系の拡大も寄与している。海外の協業先で作る商品が円安で採算が厳しくなる中、今後は独自系の輸出にも力を入れていく。

来場は事前予約制だが、スタートした9月18日からの1カ月で27社192人が来場した。最終的には80社以上、400〜500人の来場者となる見通しという。

自動車内装材関係やインテリア関係が中心ながら、その他産業資材関係や同業他社なども来場している。中島常務は「今回は並利から壁をなくした。同業他社も含めてさまざまな企業に見てもらい、情報交換を行いながら共同開発などにも結び付けていきたい。今の時代はさまざまなつながりも持つべき。そのきっかけにしたい」と話す。

材料部材の開発・成形に特化した世界最大級のプレス設備も保有する。三菱ケミカルグループは、CPC社の設計力、成形技術、開発力、提案力、欧米自動車メーカーとの商流ネットワークを活用することでシートモールド(CFISM)や圧縮成形プリプレグ(PCM)をはじめとする炭素繊維複合材料の自動車部材への採用を加速する。

尾州産地一帯で10月28、29日に産業観光イベント「ひつじサミット尾州」が開かれた。工場の一般開放やモノ作りのワークショップなどを通じて、尾州の魅力や産地企業の仕事を発信。若手の人材確保につなげようとする動きが進んでいる。



総(かせ)染めの伴染(工愛知一宮市)では、工場見学やコーヒーの絞る体験を実施。今回の染色体験は、産地企業との連携の一環で、名古屋芸術大学の学生5人をインタインシップとして受け入れた。学生の1人が来春、同

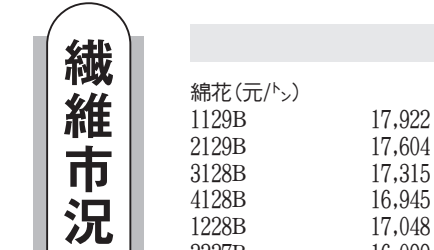
入社予定の同大学4年生の中西桃子さんは「染色に興味があり、機械ではなく人の手が入る総染めにやりがいを感じ入社を決めた」と話した。インタインシップに参加した2年生の川村紗彩さんは「今までの技術にプラスアルファで新しいことに取り組んでいる企業に魅力を感じると話した。」

服地製造の渡六毛織(岐阜県羽島市)でも工場見学に加え、ファンシーツイード作りのワークショップを行った。参加者は糸系を白と黒のどちらかを決めたのち、

バスケットシューズ2モデルに新色 ニューバランス

ニューバランスはバスケットボールのポジションレスなゲームの中で最高のパフォーマンスを発揮する「フレッシュフォームBB」をアップデートした。新色の販売を公式オンラインストアや直営店などを通じて10月27日から開始した。

Bにはニューバランスで最も優れたクッション性を持つ「フレッシュフォームX」をミッドソールに搭載し、完全なコンベクションを実現した。前者は1万8700円、カラーはブラック、



前者は1万8700円、カラーはブラック、

中国の繊維相場

Table with 3 columns: Fiber type (e.g., 綿花, ナイロン), Price (元/ト), and Change (▲/▼). Includes sub-sections for 純綿糸 and 純綿糸.

出所: 中国紡織経済信息网(カッコ内は前営業日比上昇額、▲は下落額)

ニューヨーク綿花

Table with 2 columns: Cotton type (e.g., ニューヨーク綿花), Price (円/ト), and Change (▲/▼).

豪州羊毛

Table with 2 columns: Wool type (e.g., 豪州羊毛), Price (円/ト), and Change (▲/▼).

繊維市況 10月31日

日本の紡績系相場は毎週月曜日(休刊日の場合は翌営業日)、日本の合織系・織物・タオル相場は毎月第2金曜日(同)に掲載します。